

令和7年度

日本語学習支援者基礎研修

はじめて支援を行う方へ

日本語教室等での日本語学習支援に興味がある方に向けた基礎研修です。

「日本語教室ってどんなところ?」「日本語学習の支援って何をやるのかな?」「同じ地域に住む外国人と話してみたいけど、どうしたらいいんだろう?」全5回の研修でこれらの「?」が「!」に変わります。



日程

令和7年 6月5日,12日, 19日, 26日, 7月3日(全5回)

毎週木曜日 13:00~15:30  オンライン開催 (ZOOM)

定員

30名

※先着順。ただし、支援活動未経験の方を優先します。

対象

以下のいずれにも当てはまる方

- ・18歳以上の千葉県民の方で、全5回の研修に出席できる方
- ・日本語学習支援に興味があり、これから活動したいと思っている方

※当センターが実施した「日本語学習支援者基礎研修」・「日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座」を過去に受講した方は応募できません。

受講料

無料

講師

有田 玲子氏 (東京にほんごネット代表)



内容

各回のテーマ・内容は裏面をご覧ください。

申込

財団HPの申込フォームもしくは、
右の二次元コードよりお申込みください。



申込締切は
5月23日(金)
※定員になり次第終了

 申込フォーム https://www.mcc.or.jp/lectureship_and_events/r7nihongokiso1/

過去受講者の声

とても実践的な内容で良かった。
屈辱ではなく、まずはやってみることが大切ということ再認識した。

研修内でブレイクアウトルームに分かれ、他の参加者と交流する時間があつた点がとてもよかった。自分が思いつかなかつた感想や意見を得られることがとても刺激になった。

外国人の立場に立ったものの考え方を
する視点の大切さが理解できた。今の
時代の変化に合わせた学習ができた。
自分も一緒に学んでいくのだという大切なことに気づかされた。

主催 千葉県

実施・お問い合わせ

(公財) ちば国際コンベンションビューロー 千葉県国際交流センター

 043-297-0245

 nihongo@ccb.or.jp

日時・内容

第1回 令和7年6月5日(木) 13:00～15:30	生活者のための「日本語」と日本語教室の役割 地域の在住外国人の状況を把握し、日本語教室の役割や、日本語学習支援者としての役割を考えます。
第2回 令和7年6月12日(木) 13:00～15:30	やさしい日本語 外国人にもわかりやすい日本語を使った上手なコミュニケーションの方法を学びます。
第3回 令和7年6月19日(木) 13:00～15:30	外国語としての日本語を見てみよう 外国人が日本語を学ぶとき、私たちが学校などで学んだ国語とは違う方法を使います。日本語を外国語として考え、その特徴や、学ぶ方法をみていきます。
第4回 令和7年6月26日(木) 13:00～15:30	日本語教室の活動① 動画などの教材を活用しながら「やさしい日本語」をいかした上手なコミュニケーションを考えます。 (文部科学省「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし」を一例に)
第5回 令和7年7月3日(木) 13:00～15:30	日本語教室の活動② 地域の教室で使いやすい教材や、身近な素材、テーマで行う教室活動を紹介します。また、これまでの学びをいかした教室での支援方法について、体験をとおして学びます。

注意事項

本研修は文部科学省の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用して実施するものです。研修ではカリキュラム改善や広報を目的として、講義の様子を録音、録画します。また、研修内でのアンケートは個人が特定されない形で文部科学省に提出するとともに、広報等に使用する可能性があります。ご理解、ご了承の上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。